

APEC横浜開催について（最終報告）

11月7日（日）からパシフィコ横浜等においてAPEC首脳会議等が開催され、14日（日）の首脳宣言「横浜ビジョン」をもって閉幕しました。

本市はAPEC横浜開催推進本部を中心に、国や経済界の会議開催を支援するとともに、会議関係者へのおもてなし、アピールや広報・イベントなど市民がAPECに親しんでいただけるような取組を行い、平成22年12月9日に「Ⅰ APECリーダーズウィークの概要」「Ⅱ 本市の取組」として中間報告を行いました。このたび、関係者へのヒアリング・アンケートや経済波及効果調査などの事後検証がまとまりましたので「Ⅲ 成果と検証」としてあわせて最終報告します。

Ⅰ APECリーダーズウィークの概要

1 会議のスケジュール

	11/7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)
政府	最終高級実務者会合			閣僚会議			首脳会議	
経済界		ABAC会議			中小企業サミット	CEOサミット		

2 会議概要

(1) 政府の会議

- ・ パシフィコ横浜会議センター及びインターコンチネンタルホテルにおいて開催
- ・ 最終日の11月14日には、各地で行われた日本APECの会議の成果として、首脳宣言「横浜ビジョン」を発表
- ・ APECが目指す将来像やAPEC初の成長戦略を示すとともに、アジア太平洋自由貿易圏の実現に向けた具体的な作業を進めることを表明

(2) 経済界の会議

ア ABAC会議

- ・ ベイシェラトンホテルで開催され、各国・地域のABAC委員、スタッフら260名が参加
- ・ 13日にはパシフィコ横浜でAPEC首脳と意見交換し、貿易の自由化等についての経済界の意向を表明

イ 中小企業サミット

- ・ ロイヤルパークホテルで開催され、APECメンバーに加えインド、フランスなど25の国・地域から一般募集した中小企業経営者ら約600名が参加
- ・ 「大樹も小さな種から」をテーマに中小企業が成長する上で必要な「資金・技術・グローバル市場へのアクセス」について議論

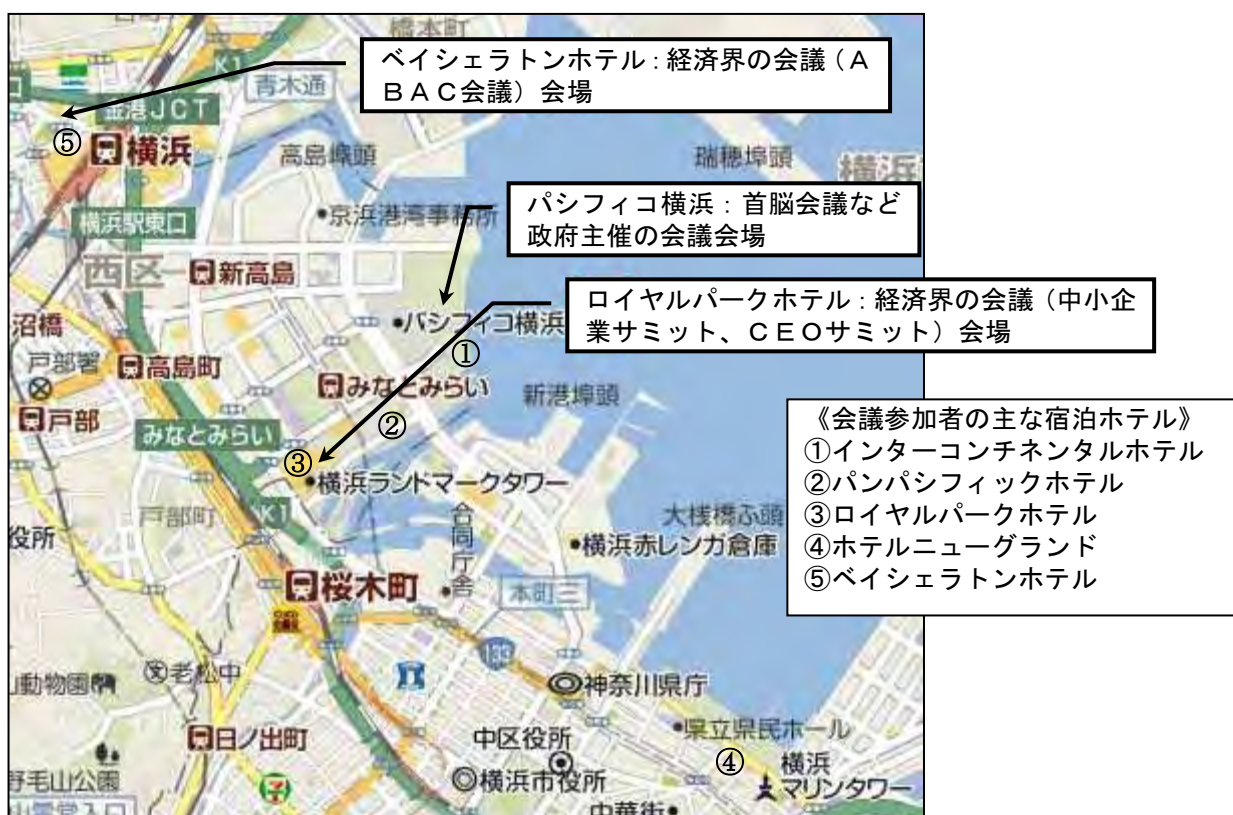
ウ CEOサミット

- ・ ロイヤルパークホテルで開催され、21 の国・地域から経済界の代表ら 900 名以上が参加
- ・ 「世界の成長の原動力としてのアジア太平洋 - 経済危機後の繁栄を目指して」をテーマに、14 のセッションにおいて議論

(3) 会議関係者数

約 10,600 名 《内訳》 政府関係の会議参加者：約 4,600 名
 経済界の会議参加者：約 1,700 名
 メディア関係者：約 4,300 名

《会場及び主な参加者のホテル》



《写真》



3 会場周辺の状況

- ・ 警備当局（約 21,000 名）による検問、職務質問や一部道路の交通規制等が実施され、パシフィコ横浜及び臨港パーク一帯への市民の立入が制限された。
- ・ バス路線の変更・運休、船舶の航路変更、遊覧ヘリコプターの休業、イベント日程の変更、集客施設の休業等が行われた。
- ・ リーダーズウィーク中、みなとみらい 21 地区及びその周辺で A P E C の反対行動なども行われた。

〈立入禁止となった区域と通行止めとなった道路〉



《写真》



II 本市の取組

1 本市の取組の基本的な考え方

APEC 横浜開催を支援するための取組

会場周辺の地元住民・事業者等をはじめ、市民や関係者の会議開催に対する理解と協力を得られるよう必要な取組を実施。また、会場周辺の安全対策等を行い、会議を安全かつ円滑に開催できる環境を整備

地元対応

市管理施設の改修・警備強化

危機管理・救急医療対応

APEC 横浜開催を意義あるものとするための取組

(3つの基本姿勢)

横浜のホスピタリティを発揮した、街の装飾や美化、ボランティアによる会議関係者への支援

おもてなし

会議関係者を対象とした視察プログラムや会場内へのPRブースの設置等により、横浜の魅力を国内外にアピール

アピール

親しむ

広報やイベントなどを通じて、市民に広く周知するとともに、参加国・地域に対する関心・理解を深める機会を創出

2 本市の主な取組経過

(1) 誘致からの主な取組

20年6月	<ul style="list-style-type: none"> 市会本会議でAPEC誘致立候補を表明 2010年APEC首脳会議の横浜開催を求める横浜市会決議
9月	<ul style="list-style-type: none"> 2010年APEC横浜誘致推進協議会設立 2010年APEC首脳会議の横浜誘致を成功させる横浜市議員の会設立
12月	<ul style="list-style-type: none"> 2010年APEC横浜誘致議員連盟設立 同議員連盟等による要望行動（～21年3月）
21年3月	<ul style="list-style-type: none"> 2010年APEC横浜誘致PRイベント（桜木町駅前） 政府が、首脳会議の開催地が横浜に決定したことを発表
7月	<ul style="list-style-type: none"> 2010年APEC横浜開催推進協議会設立
9月	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人横浜みなとみらい21会員・施設設置者連絡会を通じた情報提供（以後3回実施）
11月	<ul style="list-style-type: none"> 2010年日本APEC横浜開催1年前セレモニー（カウントダウン・ボード点灯） APEC横浜開催周知リーフレットを発行
22年1月	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市2010年日本APEC横浜開催推進本部設置（以後、3回の本部会議、約20回のワーキングチーム関係会議を開催） 2010年日本APEC横浜キックオフセミナー
3月	<ul style="list-style-type: none"> 都筑MyプラザまつりでAPECのPR（パネル展やクイズ）

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>APEC 首脳会議等の会議場がパシフィコ横浜に決定</u> ・ 既存イベント等でのPR①（青葉区桜まつり、ヨコハマ大道芸等） ・ 西区商店街組合連合会、中区商店街連合会での情報提供
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存イベント等でのPR②（ザよこはまパレード、開港祭等） ・ 市民サポーター募集開始 ・ <u>2010年日本APEC横浜市警戒本部設置</u>（以後5回の本部会議を開催）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存イベント等でのPR③（開港記念式典、tvk収穫祭等）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おもてなし作品」制作ワークショップ開始（9か所） ・ みなとみらい21地区内住民向け説明会を開催（計4回）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ APEC横浜開催記念キャンペーン周知リーフレット配布開始 ・ 住民確認カード・住民用車両確認カード発行開始（各マンションでの出張発行）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者向け車両確認カード発行場所開設（グリーンスポット） ・ みなとみらい21地区事業者に対する説明会（10月にかけて3回開催） ・ 市民サポーターオリエンテーション開始 ・ 広報よこはま特別号配布 ・ APEC女性リーダーズネットワーク会合関連イベント（横浜シンポジア） ・ APEC横浜開催記念イベント（赤レンガ倉庫）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街の美化イベント「ウェルカムAPECクリーンアップ」実施 ・ 既存イベント等でのPR④（国際フェスタ、各区区民まつり等）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>リーダーズウィーク</u>（(2)リーダーズウィークの主な取組参照）

（2）リーダーズウィーク中の本市関連の主な行事

	公式会議		本市関連行事
11/7日	高級実務		
11/8月	者会合	A B A C	・ 高級実務者昼食会
11/9火		会議	・ 閣僚歓迎レセプション
11/10水	閣僚会議		・ 閣僚同伴者エクスカージョン（八景島シーパラダイス）
11/11木		中小企業 サミット	・ A P E C開催記念シンポジウム
11/12金		C E O サミット	・ 香港行政長官が資源循環局旭工場等を訪問 ・ ビジネスリーダー交流会
11/13土	首脳会議		・ C E O同伴者プログラム（横浜能楽堂ほか） ・ 中国国家主席夫人が人形の家を訪問
11/14日			・ 首脳同伴者プログラム（三溪園・地元PRブース） ・ ペルー大統領が臨港パークのリマちゃん像※を訪問

※ 日本人ペルー移住100周年記念像。平成11年（1999年）2月、臨港パークに設置

3 主な取組内容

(1) APEC横浜開催を支援するための取組

ア 地元対応

(ア) みなとみらい21地区の住民等に対する情報提供

- ・ 22年2月以降8回にわたり「APEC横浜開催に関連するお知らせ」を全戸配布
- ・ みなとみらい21地区内住民向け説明会を開催（7月4日、7月10日、合計4回）
- ・ 区連合町内会連絡協議会に対し情報提供（西区、中区、神奈川区）

(イ) みなとみらい21地区の事業者等に対する情報提供

- ・ 21年9月以降7回にわたり、一般社団法人横浜みなとみらい21を通じて情報提供
- ・ みなとみらい21地区内事業者向け説明会を開催（9月28日、10月7日）
- ・ 必要に応じ各テナントに対する個別説明も実施
- ・ 横浜駅、伊勢佐木町、元町など周辺商店街に対し情報提供

(ウ) 来街者等に対する情報提供

- ・ 神奈川県警察と連携した交通総量抑制、公共交通機関利用、通行規制などの広報
- ・ 県内教育機関・福祉施設に対し、APEC開催に伴うみなとみらい21地区への影響について情報提供

(エ) 住民確認カード・車両確認カードの発行

- ・ 住民や事業者への影響軽減策として、8月30日から11月14日まで、住民確認カード6,114枚、車両確認カード8,507枚を発行

《写真》





立入禁止の予告板



公共交通機関利用の呼びかけ



車両ステッカー



歩行者へのお知らせチラシ



住民確認カード



マンションでの確認カードの発行



車両確認カード



事業者のトラックに置かれた車両確認カード

イ 市管理施設の改修・警備強化

(ア) 会場周辺の本市管理施設の改修

- ・ 国際交流ゾーンの案内サインの更新やタイルの修繕などを実施
- ・ 警備を容易にするため未利用地の草刈りを実施
- ・ 共同溝入口の鍵を修繕
- ・ 要人の車列ルートとなる、けやき通りや国際大通りの車止めを増設
- ・ 監視体制の強化に向けた繁華街安心カメラの増設

(イ) 会場周辺の警備強化

- ・ 5月10日より、みなとみらい駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車の駐輪場への誘導や撤去を実施
- ・ 公園・共同溝・ふ頭・港湾等の巡回を強化
- ・ 水域警備の障害となる可能性のある沈没船の撤去や、海上清掃を実施
- ・ テロや不法行為を防止するため、けやき通りに仮設中央分離帯を設置
- ・ 違法なデモを防止するため、会場周辺の公園に仮設フェンスを設置

ウ 危機管理、救急医療、食品・環境衛生対応

- ・ 「2010年日本APEC横浜市警戒本部」(庁内)を設置(以後5回の本部会議を開催するとともに、災害を想定した訓練を実施)
- ・ パシフィコ横浜会議センター及び展示ホールにそれぞれ救護室を設置、インターコンチネンタルホテルに要人用救護室を設置
- ・ 会議場や、みなとみらい21地区周辺のホテル、飲食店等に対する衛生点検(立入調査、食品検査)を実施するとともに、情報伝達体制を確立

《写真》





放置自転車等対策



放置自転車等対策



沈没船の撤去



仮設中央分離帯の設置



仮設フェンスの設置



2010年日本APEC横浜市警戒本部会議



災害を想定した訓練の実施



現地救護室

(2) APEC横浜開催を意義あるものとするための取組

ア 親しむ

(ア) 様々な広報・PR

- ・ APEC横浜開催を周知するため、「広報よこはま」やポスター、リーフレット、横断幕、ラジオ、民間情報誌などを活用した様々な広報を展開（21年8月～22年11月）
- ・ ウェブサイトによる会議開催情報、イベント情報などの発信（21年11月～）
- ・ 民間事業者等のAPEC関連企画・イベントを一体的に広報・PRするAPEC横浜開催記念キャンペーンの実施（9～10月）
- ・ 市内18図書館でのAPEC関連書籍とパネルの巡回展（7～11月）

(イ) 市内小学生とAPEC参加国・地域出身者との交流

- ・ 市内小学校（21校）の児童（約1,900名）が、APEC参加国・地域の出身者等と交流し、参加国・地域の文化、歴史等を学習（6～9月）

(ウ) APEC横浜開催記念イベント

- ・ 9月28日～10月3日、赤レンガ倉庫において開催。大使館等の協力を得て、参加国・地域を紹介するパネルや、市内9会場で市民とともに制作した「おもてなし作品」を展示
- ・ 市内小学校とAPEC参加国・地域との交流の成果を代表3校が発表するとともに、中学生・高校生が参加国・地域の昔話を題材として制作した大きな絵本の朗読会を実施（来場者約4,500名）

(エ) 既存イベント・企画との連携

- ・ 市内の既存イベント・企画（ザよこはまパレード、横浜開港祭、各区区民まつり、市内大学「開港塾」など）と連携し、APEC横浜開催をPR（21年10月～22年10月）

(オ) APEC開催記念シンポジウム

- ・ 11月11日、日産ホールにおいて「女性の社会進出が支える持続可能な発展」をテーマに開催（参加者約650名）

(カ) アフターイベント

- ・ アフターイベントとして、①2010年日本APEC横浜開催 報告会、②APEC横浜開催記念 YSF2010（ヨコハマ・スチューデント・フォーラム）、③2010年日本APEC横浜開催 写真パネル展、を開催

《写真》





開催周知の横断幕（鶴見区総合庁舎）



開催記念キャンペーン



18 図書館での巡回展



市内小学生と参加国・地域出身者との交流



APEC 横浜開催記念イベント（各国・地域の紹介）



APEC 横浜開催記念イベント（各国・地域の手作り絵本）



保土ヶ谷花フェスタでのPR



APEC 開催記念シンポジウム

イ おもてなし

(ア) 街の美化イベント

10月23日、「ウェルカムAPECクリーンアップ」を実施し、約1,200人の市民参加により会議場周辺を清掃。また、市内関係団体も独自の清掃活動で協力

(イ) お出迎え等

- ・ 各国・地域首脳、閣僚等をホテルでお出迎え
- ・ APEC首脳会議開催地「横浜」の記憶や印象を会議参加者に永く残すため、各国・地域に対し絵皿を贈呈

(ウ) 市民サポーター・ジュニアサポーターによる案内

11月6～15日、市民サポーター約140人がホテルなど10か所のインフォメーションデスクで、また、ジュニアサポーター約590人が横浜駅通路で会議関係者を案内

(エ) 市民とともに制作した「おもてなし作品」の会議場への展示

7～9月にかけて市民の笑顔を撮影した写真を組み合わせ制作した「おもてなし作品」を、11月7～14日、パシフィコ横浜会議センター2階ロビーに展示し、会議関係者を歓迎

(オ) 会議関係者の視察への対応

- ・ 11月10日、八景島シーパラダイスにおいて閣僚同伴者エクスカージョンを行い、参加者を地元の食材でおもてなし
- ・ 11月13日、2010年APEC横浜開催推進協議会と横浜能楽堂が共催する特別公演に、社団法人日本経済団体連合会が主催するCEO同伴者プログラムの参加者が来場し、日本の伝統文化を体験
- ・ 11月14日、三溪園において首脳同伴者プログラムが政府主催で行われ、本市はこれを支援。参加者は、お茶や着物、庭園といった日本の伝統文化を体験

(カ) 街の歓迎装飾

- ・ 会場周辺を中心にバナーフラッグ、横断幕・懸垂幕等で装飾
- ・ 市内企業、団体関係者の協力を得て、植栽やイルミネーションを設置

《写真》

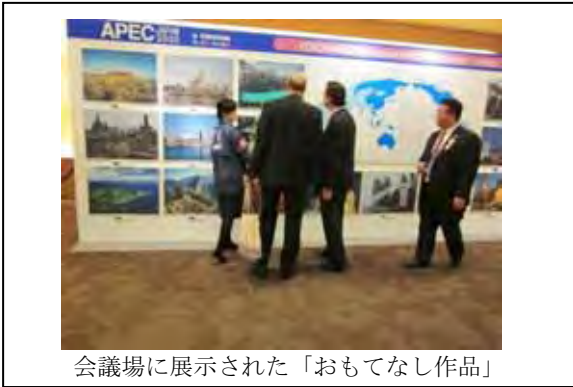




市民サポーターの活動（みなとみらい駅）



ジュニアサポーターの活動（横浜駅）



会議場に展示された「おもてなし作品」



関係同伴者エクスカージョン（八景島）



横浜能楽堂特別普及公演



首脳同伴者プログラム（三溪園）



会場周辺の歓迎装飾（桜木町）



会場周辺の歓迎装飾（みなとみらい駅）

ウ アピール

(ア) 地元PRブースの設置

- ・ 11月6～14日、政府展示「JAPAN EXPERIENCE～日本の知恵と技術の体験空間～」に、2010年APEC横浜開催推進協議会として「OPEN YOKOHAMA」をテーマに出展（約300㎡の規模）
- ・ 横浜・神奈川の観光地、名産品の紹介や、上下水道の都市システム、横浜スマートシティプロジェクトなどの先進的な取組や地元企業の技術等を紹介（メディアをはじめ、首脳同伴者や国内外の大臣など約3,400名が来場）

(イ) 視察プログラムの実施

- ・ 11月7～12日、会議関係者を対象に「観光・コンベンション都市」「環境モデル都市」のPRのため、視察ツアーの実施や、観光施設・博物館等のチケットを配布したほか、スマートシティプロジェクトを紹介（視察ツアー参加者75名、チケット利用者約300名、スマートシティプロジェクト視察者582名）

(ウ) 地元PRキットの配布等

- ・ 横浜の魅力をアピールするとともに、快適な横浜滞在の一助となるよう、観光マップ、飲食店ガイド、視察プログラム紹介リーフレット、CD等を会議関係者に配布
- ・ ジャパンタイムズに横浜のシティセールス広告を掲載し、会議関係者に配布

(エ) 交流会等の開催

- ・ 11月8日、高級実務者昼食会をホテルニューグランドにおいて開催し、日本の様々な食文化発祥の地である横浜を紹介（参加者31名）
- ・ 11月9日、閣僚歓迎レセプションを神奈川県、地元企業とともにロイヤルパークホテルにおいて開催し、みなとみらい21地区の街づくりなどを紹介（参加者約240名）
- ・ 11月12日、ビジネスリーダー交流会を2010年APEC横浜開催推進協議会と、社団法人日本経済団体連合会との共催により大さん橋ホールにおいて開催し、地元企業と海外CEOとの交流の場とするとともに横浜・神奈川の魅力や地元企業・団体の取組をアピール（参加者約1,000名）

《写真》



地元PRブース（全景）



地元PRブース（会議関係者への説明）



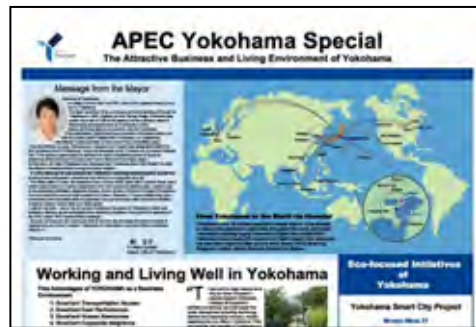
視察プログラム（日産スタジアムにおける効率的な水利用）



視察プログラム（スマートシティプロジェクト）



地元PRキット



ジャパンタイムズ



高級実務者昼食会



関係者歓迎レセプション



ビジネスリーダー交流会



ビジネスリーダー交流会

Ⅲ 成果と検証

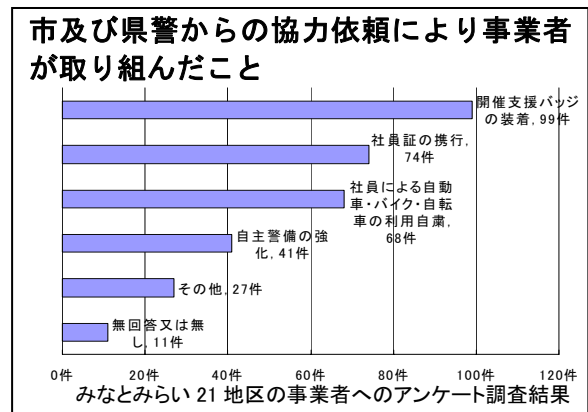
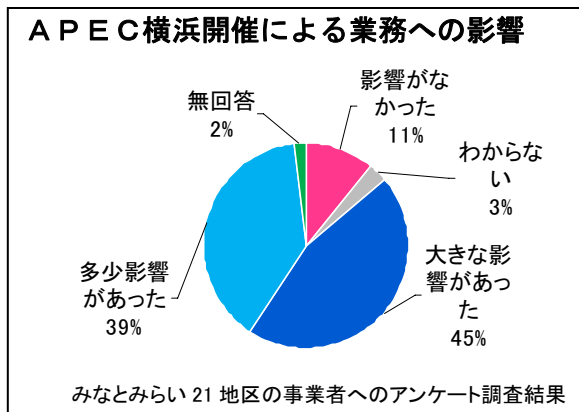
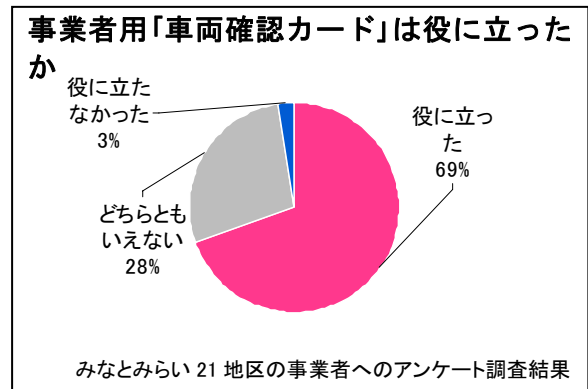
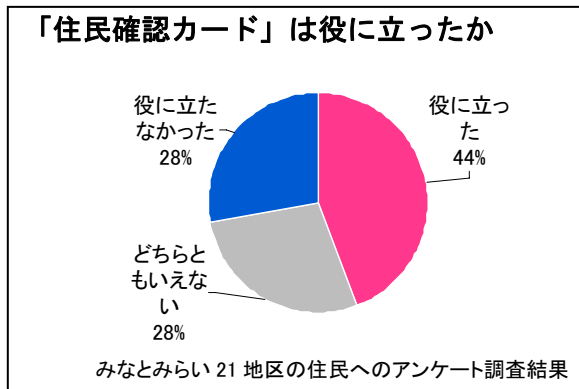
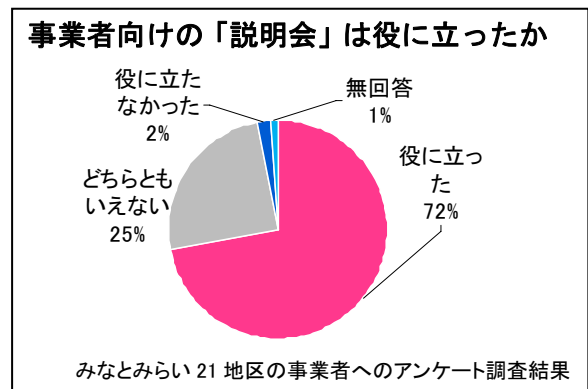
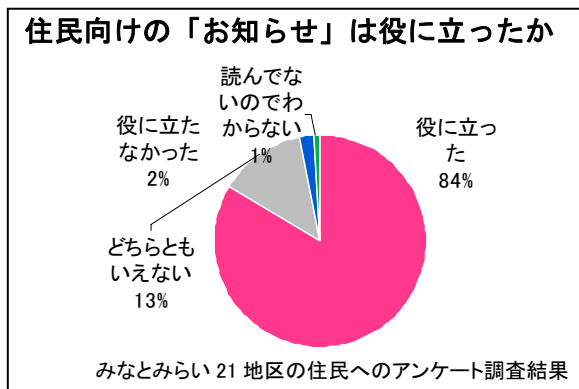
1 取組の成果と検証

(1) APEC横浜開催を支援するための取組

ア 地元対応

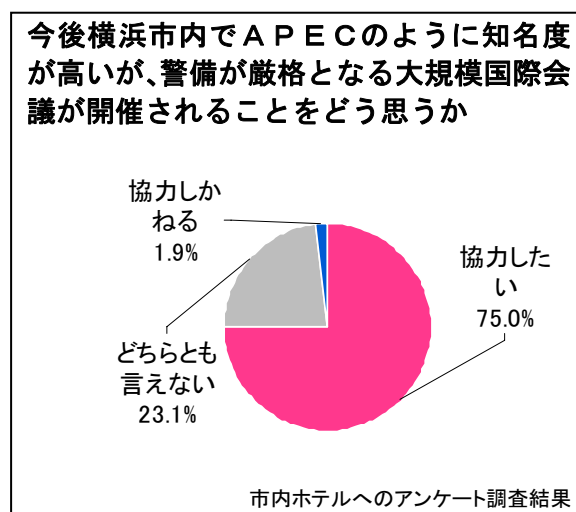
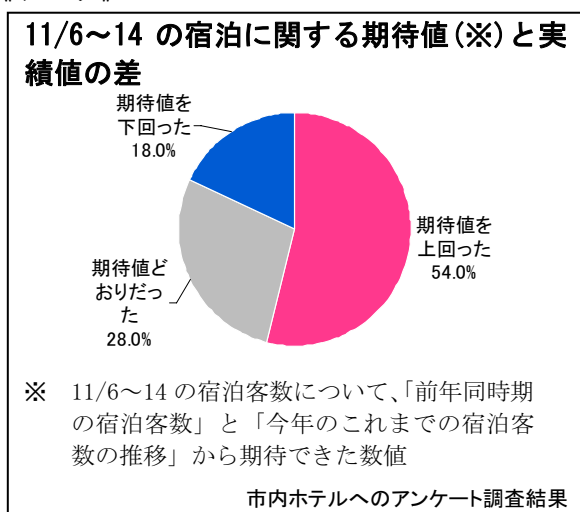
- ・ 会場に近接するみなとみらい 21 地区の住民及び事業者に対しては、適切な時期に、必要な情報を提供することができた。
- ・ 住民確認カード及び車両確認カードの発行は、地区の全体的な安全性の確保につながり、警察による職務質問や車両検問の所要時間の短縮が確認できたことから、地元への影響を軽減することができた。
- ・ みなとみらい 21 地区には様々な影響が生じたが、情報提供や影響軽減策などの取組の結果、多くの方々の理解や協力を得ることができたと考えている。

《データ》



- ・ 会議関係者の宿泊については、市内ホテルの協力により、十分な宿泊室数を確保・提供することができた。
- ・ リーダーズウィーク中の宿泊について、一部、「期待値を下回った」ホテルもあったが、多くのホテルが「期待値どおり」もしくは「期待値を上回る」実績を上げた。
- ・ 今後、市内で APEC のような大型国際会議を開催することについては、「協力したい」という意見が大部分を占めた。
- ・ 周辺商店街については、特にみなとみらい 21 地区に近いエリアでは会議開催期間中の客足が減るなどの影響が出たところもあったが、全般的には横浜を宣伝・アピールできたことや安全に開催できたことを評価するとともに、APEC 横浜開催を契機とした様々な取組を今後の商店街の活性化へつなげたいとする意見であった。

《データ》



イ 市管理施設の改修・警備強化

ウ 危機管理、救急医療、食品・環境衛生対応

- ・ 庁内一体となった取組及び関係機関との連携により、市管理施設の改修・警備強化、危機管理、救急医療対応、食品・環境衛生対応など、会議を安全かつ円滑に開催するための環境を整備することができ、会議を無事終了させることができた。
- ・ 今回は「横浜市 2010 年日本 A P E C 横浜開催推進本部」の下、本市の担う様々な役割について全庁をあげて取り組む体制をとるとともに、A P E C 横浜開催に向けた全庁的な危機管理体制として「2010 年日本 A P E C 横浜市警戒本部」を設置した。こうした取組は、今後、本市が類似の大型国際会議の開催支援を行う場合に向けて貴重な経験となった。

《参考》

神奈川県警察本部長のコメント

今回の A P E C 警備では、極めて厳しい情勢の下、多くの関係する皆様に御協力をいただき官民一体となった総合的諸対策を行い、日本型テロ対策を推進するとともに、全国警察が一体となって警備に全力で取り組みました。その結果、会議の円滑な進行と各国要人の身辺の安全を確保するとともに、市民の皆様の安全と安心を確保し、テロや暴動等の違法事案の発生を未然に防止するなど、課せられた治安責任を全うすることができました。A P E C 警備の完遂を支えてくださいました横浜市や市民の皆様に、心より感謝申し上げます。

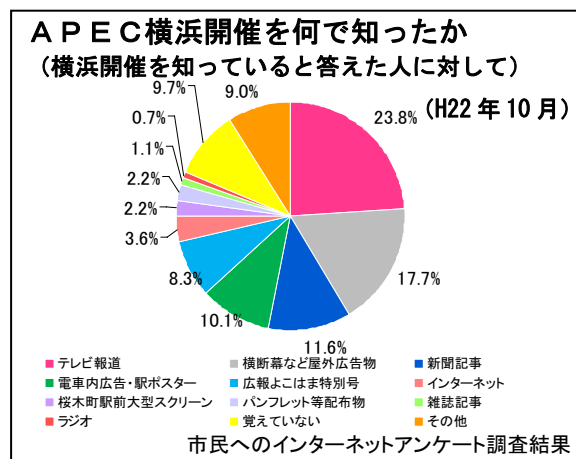
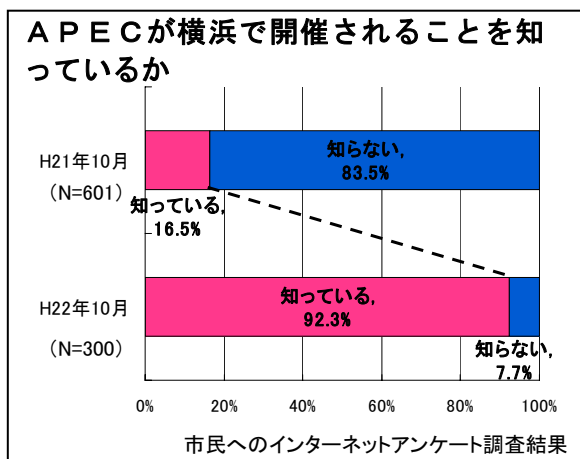
(2) APEC横浜開催を意義あるものとするための取組

ア 親しむ

(ア) 広報・PR

- ・ 横浜市民のAPEC横浜開催についての認知度は、直前（22年10月）の時点で90パーセント以上まで高めることができた。
- ・ これは、テレビ報道、横断幕などの屋外広告物、新聞記事、電車内広告・駅のポスター、広報よこはまなど、多様な手法での広報が有効だったためと考えられる。

《データ》



(イ) イベント等

- ・ 市内小学生とAPEC参加国・地域出身者等との交流や、市内の高校生等による参加国・地域の昔話の絵本の作成及び朗読会、日本・台湾の学生が参加するY S F 2010（ヨコハマ・スチューデント・フォーラム）での討論など、青少年が世界に目を向ける機会を提供することができた。
- ・ APEC横浜開催記念イベントをはじめ、関連イベントなどに13,000人以上の参加があり、広く市民にAPECに親しんでもらうことができた。
- ・ APEC横浜開催記念キャンペーンは、民間企業や団体とも連携し、APECに関連する企画やイベントを誘発（44事業）することで、市民が世界の文化にふれる機会を広く提供することができた。

《データ》

参加国・地域出身者等と交流した小学生の声

◇どんなことが楽しかったですか？

(回答数 1,658人／複数回答／多い順)

- ・ 他国の言語を学べたこと (863人, 20%)
 - ・ 他国の遊びを学べたこと (790人, 19%)
 - ・ 他国の食べ物を学べたこと (567人, 13%)
 - ・ 他国の人としゃべれたこと (496人, 12%)
 - ・ 他国の音楽を学べたこと (381人, 9%)
- など

参加小学生へのアンケート調査結果

参加国・地域の昔話の絵本の作成・朗読会に参加した高校生の声

- ・ APECに関連するイベントに参加できてうれしい。
- ・ APECに参加する国や地域がどんなところか、絵本を通じて伝えたい。
- ・ (絵本の紹介を通じ)コミュニケーションの大切さを訴えることで交流が進み、APECが成功してほしい。

出典：読売新聞、神奈川新聞

イ おもてなし

- ・ 会議場周辺の清掃活動や歓迎装飾に対して多くの市民や市内企業・団体関係者の協力が得られ、地元をあげて会議関係者へのおもてなしができた。
- ・ 警備の関係上、活動の場は限られていたが、市民サポーターによる 600 件近くに及ぶ観光・交通の案内や、ジュニアサポーターによる横浜駅通路での案内など、国内外からの会議関係者に対する様々な横浜滞在支援ができた。
- ・ 会議関係者を、横浜能楽堂をはじめとする市内各施設へ案内したほか、会議場内にも市民参加型（約 3,000 人）で制作した「おもてなし作品」を展示し、会議関係者を温かくおもてなしすることができた。

《データ》

会議関係者の横浜に対する感想

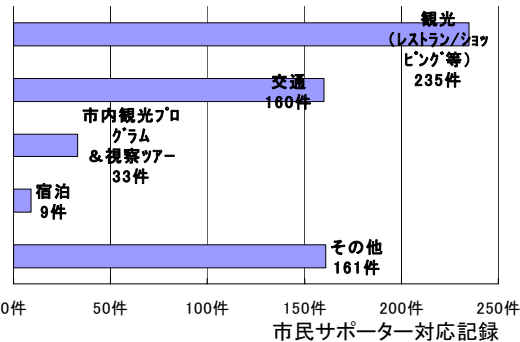
- ・ とてもクリーンですてきな街
- ・ 治安が良く、人も優しい。
- ・ 泊まったホテルではボランティアの人たちがよくしてくれた。
- ・ みなとみらい地区は以前来たときからだいぶ変わった。本当に美しい街になって会議場もきれいだった。
- ・ 港がとても美しい。
- ・ 見学ツアーや観光地図など、いいものを出しているが忙しくて行く暇がない。

出典：読売新聞、東京新聞

市民サポーター活動風景



市民サポーターインフォメーションデスクの対応実績（案件別内訳）



サポーター活動後のコメント

【市民サポーター】

- ・ 大きな国際会議をサポートする機会はなかなかないので、貴重な体験だった。

【ジュニアサポーター】

- ・ 短い期間ではあったが、日々学んでいる英語を実際に発揮することができた。
- ・ 軽い気持ちで参加したが、国際情勢や日本の立場など考える機会になり、大変勉強になった。

市民サポーターへのアンケート調査
ジュニアサポーターへのヒアリング

横浜能楽堂視察者の声

◇英語音声ガイド付きで能・狂言を鑑賞

- ・ とてもおもしろい。衣装が美しかった。
- ・ とても美しかった。日本の文化に感銘を受けました。

出典：NHK首都圏ニュース

- ・ とても素敵な舞台だった。
- ・ 日本の古典文化を感じられました。

出典：神奈川新聞

会議会場内の「おもてなし作品」の展示



ウ アピール

- ・ 地元企業・団体の協力を得て会議場内に設置した地元PRブース、地元企業・団体と連携して開催したレセプションやビジネスリーダー交流会、横浜スマートシティプロジェクトなど先進的な取組や本市施設を紹介する視察プログラムの実施などを通じ、横浜の魅力を十分にアピールすることができ、多くの報道で取り上げられた結果、国内外における横浜の認知度を向上させることができた。

《データ》

地元企業・団体の声

◇PRブース展示協力について

- ・ 展示協力ができてよかった。協力実績を今後自社の営業に活かしていきたい。
- ・ 今後も機会があれば協力したい。

◇交流会等について

- ・ 各国地域の経済界のトップに直接アピールする貴重な機会が持ててよかった。
- ・ 交流会に参加したことで、テレビ・新聞等で報道され、PR実績となった。

地元企業・団体へのヒアリング

PRブース来場者の声

- ・ スカーフや伝統家具など横浜の名産品を知ることができた。
- ・ 展示されているグッズはどこで買えるのか。買いにいく時間がないのでPRブースで購入できると便利だった。
- ・ その他、展示されている各種の商品について価格や自国での販売の有無、購入方法などを問い合わせる声が多数。

来場者へのヒアリング

視察プログラム参加者の声

◇横浜スマートシティプロジェクト

- ・ こうした技術が市場に普及しようとしているのは素晴らしい。
- ・ 横浜での取組でぜひ成功を収めて、実証実験が終わる5年後には日本国内だけでなく他の国々にも広めていただきたい。

◇北部下水道センター

- ・ これからは中国でも環境に配慮した技術が必要になる。横浜市にやさしい技術は大変参考になった。

参加者へのヒアリング

北部下水道センター視察光景

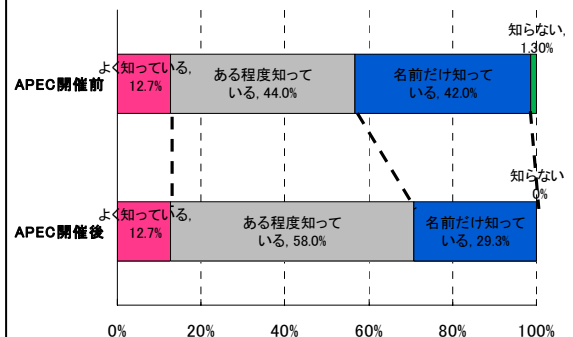


報道によるパブリシティ実績

メディア	件数又は時間
国内	
全国紙	1,592件
地方紙	465件
テレビキー局	5時間7分2秒
テレビ神奈川	43分30秒
国外(CNNのみ調査、横浜市CM含む)	1時間14分30秒

APEC 横浜開催にかかる報道によるパブリシティ価値計測調査結果

台湾での横浜の認知度の変化



APEC 横浜開催によるシティセールス効果等インターネットアンケート調査結果

2 効果測定

(1) 経済波及効果

平成 21 年 3 月の開催地決定から間もない時期に推計し、同年 7 月に発表した経済波及効果について、開催時の実績値等をもとに改めて推計した。

APEC 横浜開催に伴う市内への経済波及効果は、向こう 5 年間（2011～2015 年）を含んで 352～456 億円、雇用発生数は 3,400～4,436 人、市への税収効果は 4.5～5.8 億円と推計される。

《データ》

	今回調査	事前調査
需要発生額（直接効果）	301～366 億円	433～498 億円
【内訳】		
①代表団、日本政府関係者、警備関係者等の消費活動	(39.2)	(104.3)
②会議運営、各種対策、準備行為にかかる経費支出	(154.5)	(202.0)
③減少した来街者、APEC 横浜開催がなくても見込めた宿泊客等による消費活動	(▲19.7)	---
④コンベンション増加による需要発生（5年間）	(29.2)	(29.2)
⑤観光客増加による需要発生（5年間）	(97.5～162.5)	(97.5～162.5)
経済波及効果	352～456 億円	539～637 億円
雇用発生数	3,400～4,436 人	5,257～6,271 人
税収効果	4.5～5.8 億円	—

《事前調査との差異の理由》

◆実績値が推計値を下回ったことによる減少

- ・韓国での G20（11/11～12）開催が直前だったため、代表団・メディア関係者の滞在期間が見込みより短くなった。
- ・警備関係者の延べ活動日数が見込みより減少した。
- ・国等の予算が見込みより縮減された。等

◆減少した来街者、宿泊客、コンベンションによるマイナス効果の減算

※事前の見込みは、1995 年の大阪 APEC に関連する資料や外務省からのヒアリングをもとに推計

(2) APEC 横浜開催にかかる報道によるパブリシティ価値計測

APEC 横浜開催にかかる報道による本市パブリシティの価値を広告価格に換算したところ、約 166 億円に値すると計測された。

《データ》

メディア	対象期間	数量	広告価格
新聞	平成 21 年 3 月 25 日～ 平成 22 年 11 月 15 日	2,057 件	62.2 億円
テレビ	平成 22 年 11 月 1 日～ 平成 22 年 11 月 15 日	5 時間 50 分 32 秒	65.3 億円
海外 (CNNのみ調査、横浜市CM含む)	平成 22 年 11 月 9 日～ 平成 22 年 11 月 21 日	1 時間 14 分 30 秒	38.5 億円
合計			166.1 億円

3 まとめ

2010年日本 APEC の首脳会議開催は、市会をはじめ関係者のご協力により横浜への誘致が実現し、本市は、地元の開催支援組織である 2010年日本 APEC 横浜開催推進協議会とともに、様々な取組を進めてきた。

本市は開催都市として、会場となったみなとみらい21地区の多くの住民や事業者をはじめとする市民や関係者から理解、協力を得られるよう必要な地元対応を行うとともに、神奈川県警と連携しつつ、会議が安全かつ円滑に開催できる環境を整えた。これらの結果、無事に会議終了を迎えることができ、会議主催者である国からも高い評価を受けた。さらに羽田空港国際化による交通アクセスの良さや充実した宿泊施設など、利便性の高いコンベンション機能を実証することができた。これらのことは、今後の大型国際会議をはじめとするMICEの誘致に向けての大きな成果である。

また、本市はAPEC横浜開催を意義あるものとするため、「親しむ」「おもてなし」「アピール」の3つを基本方針に様々な取組を行った。「親しむ」については、イベント等を通じ、幅広い市民の皆様へAPEC参加国・地域への関心・理解を深めていただくことにより、市民による国際交流を促進するとともに、市民が世界に目を向けるきっかけを提供できた。また、市民力を最大限に発揮したオール横浜としての様々な「おもてなし」は、会議参加者に良い印象を与えることができた。さらに、観光施設や市の先進施策の紹介とともに、市内企業等の方々と一体となった「アピール」ができたことは、今後の観光客・企業誘致や市内企業の活性化につながるものと期待される。

一方で、APEC 横浜開催は、本市として経験のない嚴重な警備のもとに行われたため、会場周辺の住民や事業者等を中心に、市民生活や企業活動に影響を与える結果となった。

市の国際的知名度向上や今後の企業誘致・観光客増など大きな経済効果が期待できる大型国際会議の開催は、今後の横浜経済の活性化にとって極めて重要となるが、その際には今回のように、多くの方々の御理解・御協力が不可欠である。

今回の貴重な経験を十分に生かし、地元の理解と協力を得ながら、「MICE都市 横浜」の確立に向け、一層の推進を図ることとしたい。

《参考》

外務省日本APEC準備事務局長のコメント

日本APEC横浜リーダーズウィークでは、21の国と地域の首脳及び関係閣僚が横浜に集い、APEC地域の将来像についての共通認識を得て、首脳宣言『横浜ビジョン』を発出するという大きな成果が得られました。

横浜の皆様のご協力と御支援により、会議が成功裡に開催できたことに、心より感謝申し上げます。

APECビジネス諮問委員会（ABAC）議長のコメント

昨年開港150周年を迎えた横浜の地で貿易や投資の自由化について各国や地域の代表者と有意義な議論を交わせたことを喜ばしく思います。

APEC関連会合の無事閉幕にあたり横浜市や市民の皆様のご暖かなご協力を深謝致します。

APEC横浜開催関連事業 執行見込額について (平成 22 年 12 月末現在)

【局別内訳表】

	当初予算額	執行見込額
APEC・創造都市事業本部	250,341 千円	174,390 千円
健康福祉局	1,859 千円	711 千円
環境創造局	10,562 千円	7,196 千円
経済観光局	25,000 千円	22,000 千円
都市整備局 (市民局予算 80 千円/執行見込 19 千円を含む)	1,802 千円	425 千円
道路局	92,553 千円	76,240 千円
港湾局	175,012 千円	146,260 千円
消防局	41,186 千円	33,934 千円
計	598,315 千円	461,156 千円

【取組別の内訳】

(1) 会議を成功させるために必要なセキュリティ対策等の環境整備

	当初予算額	執行見込額
	428,665 千円	<u>338,876 千円</u>
ア 地元対応・関連事業対策〔APEC・創造都市事業本部、消防局〕	76,894 千円	<u>36,196 千円</u>
イ 市管理施設の改修〔経済観光局、道路局、港湾局〕	141,362 千円	<u>132,611 千円</u>
ウ 港湾、河川、道路、公園等の警備強化〔市民局、環境創造局、都市整備局、道路局、港湾局〕	163,567 千円	<u>119,510 千円</u>
エ 消防・救急医療対応〔健康福祉局、消防局〕	24,094 千円	<u>19,858 千円</u>
オ 報告書作成ほか事務経費〔APEC・創造都市事業本部〕	22,748 千円	<u>30,701 千円</u>

(2) 市民がAPECに「親しむ」〔APEC・創造都市事業本部〕

103,370 千円 **62,272 千円**

(3) 会議関係者への「おもてなし」〔APEC・創造都市事業本部〕

22,300 千円 **18,300 千円**

(4) 横浜の魅力の「アピール」〔APEC・創造都市事業本部〕

43,980 千円 **41,708 千円**